

「見て」「聞いて」「感じて」自分を守る。家族を守る。

ハカルワカル広場 映画会 開催

< 第22回 >

第八の戒律

偽りの証言をしてはならない
モーゼの十戒

「原発の放射能なんて自然界に
くらべれば微々たるものです」

「原子力はクリーンで安価」
「健康被害は心配ありません」

ドキュメンタリー映画
「核分裂過程」の続編

9月7日(土) 10:00~12:00

ハカルワカル広場 お茶会

参加料 800円



八王子市民放射能測定室

ハカルワカル広場

〒192-0053 東京都八王子市八幡町 5-11 八中ビル 2F

お電話
問合せ

042-686-0820

HP: <http://hachisoku.org> メール: hachisoku@gmail.com

【開室】火~金曜日:10時~15時、土曜日:10時~12時

ハカルワカル広場 案内地図 (住所:八王子市八幡町5-11 八中ビル2階)



第八の戒律

DAS ACHTE GEBOT

(1991年 / ドイツ / 95分 / 監督：ベルトラム・フェアハーク&クラウス・シュトリーゲル / 制作：デンクマル・フィルム)

海に流し、拡散したはずだった放射能は、
今、海岸に戻ってきて、じわじわと生命を蝕んでいる

ヴァッカーズドルフ再処理工場の建設は中止された。鉄柵は解体された。
しかし核廃棄物は残る。カメラは世界中から核廃棄物が持ち込まれるフランスのラ・アーグ、
イギリスのセラフィールドへ向かう。そこで見た放射能汚染の現実は……

題名はモーゼの十戒第八「偽りの証言をしてはならない」を意味する。
原子力開発の50年、それは嘘とごまかしの歴史だった。原子力産業を推進してきた科学者、
政治家、事業者は一体何をしてきたのか……彼らのやり方と言葉は、なぜ国を超えてこうも似
ているのか。

核開発と原子力利用の実態をグローバルに俯瞰し、人類、生命への脅威ととらえ警鐘を鳴らす
問題作。あなたは、どうしますか？

制作者インタビューより

「映画『核分裂過程』を撮ったことにより、どんなに巨大な企みが画策されているかを明らかにしたい
という思いに駆られました。『第八の戒律』は原子力40年の歴史を描こうという試みです。これは実は
民主主義についての、共に生きる方法についての作品なのです。」(ベルトラム・フェアハーク)

